

低炭素都市なごや戦略第2次実行計画 指標一覧 (2018年度 進捗状況)

1 2050年に向けた指標

生活の将来像	指標項目	指標の説明	2016年度 (計画策定時)	2018年度 (最新)	2030年度 (目標)
1 駅そば生活	駅そば生活圏人口比率	駅そば生活圏人口/全市人口×100	67% (2015年度)	同左	71%
	自動車分担率	パーソントリップ調査による、すべての交通手段の中で自動車が利用されている比率	43% (2011年度)	同左	33%
2 風水緑陰生活	雨水の浸透・貯留率	雨水のうち、地中にしみこんで地下水となる割合	15.5% (2012年)	同左	24% (2030年)
	雨水の蒸発散率	雨水のうち、水面や地表面、植物などから蒸発散する割合	23.3% (2012年)	同左	27% (2030年)
	雨水の直接流出率	雨水のうち、地中にしみこむことなく河川等に流出する割合	61.2% (2012年)	同左	49% (2030年)
3-1 低炭素住生活 -移動-	【再掲】 自動車分担率	パーソントリップ調査による、すべての交通手段の中で自動車が利用されている比率	43% (2011年度)	同左	33%
3-2 低炭素住生活 -住宅・建築物-	「家庭」と「オフィス・店舗等」の1人あたりエネルギー消費量(指数)	温室効果ガス排出量調査における、民生部門(家庭、業務)での最終エネルギー消費量/人口	100 (2013年度)	92 (2016年度)	79
3-3 低炭素住生活 -事業・産業-					

2 2030年に向けた指標

生活の将来像	指標項目	指標の説明	2016年度 (計画策定時)	2018年度 (最新)	2030年度 (目標)
1 駅そば生活	市内主要地点1日(平日)あたり自動車交通量	当該年における県警の交通管制センター車両感知器測定による、市内45地点(双方向)における1日(平日)あたり自動車通過台数合計(二輪車を除く)	137万台 (2015年)	136万台 (2017年)	110万台 (2030年)
	市内鉄道及び市バス1日あたり乗車人員合計	当該年度における市営地下鉄各駅、ゆとりーとライン高架区間各駅、あおなみ線各駅、JR東海市内各駅、名鉄市内各駅、近鉄市内各駅及び市バスの1日あたりの乗車人員の合計	250万人 (2015年度)	259万人 (2017年度)	252万人
2 風水緑陰生活	緑化地域制度によって確保された緑の面積(累計)	緑化地域制度による面積の累計	399.2ha	436.7ha (2017年度)	850ha (2028年度)
3-1 低炭素住生活 -移動-	【再掲】 市内主要地点1日(平日)あたり自動車交通量	当該年における県警の交通管制センター車両感知器測定による、市内45地点(双方向)における1日(平日)あたり自動車通過台数合計(二輪車を除く)	137万台 (2015年)	136万台 (2017年)	110万台 (2030年)
	【再掲】 市内鉄道及び市バス1日あたり乗車人員合計	当該年度における市営地下鉄各駅、ゆとりーとライン高架区間各駅、あおなみ線各駅、JR東海市内各駅、名鉄市内各駅、近鉄市内各駅及び市バスの1日あたりの乗車人員の合計	250万人 (2015年度)	259万人 (2017年度)	252万人
	エコドライブ実施率	市民アンケート調査で、エコドライブを「常にしている」と答えた人の数/アンケート回答総数×100	48%	47.7%	90%以上
3-2 低炭素住生活 -住宅・建築物-	一定の省エネルギー対策を講じた住宅の割合	住宅・土地統計調査における全部又は一部の窓に二重サッシ又は複層ガラスを使用している住宅ストックの比率	15.3% (2013年)	同左	30% (2023年)
3-3 低炭素住生活 -事業・産業-	省エネルギー訪問相談件数(累計)	省エネルギーについてのアドバイス等を行う省エネルギー訪問相談を実施した件数の累計	10,019件	13,771件	30,000件
3-4 低炭素住生活 -環境エネルギー-	太陽光発電設備の導入容量(累計)	資源エネルギー庁が公表する固定価格買取制度における太陽光発電設備導入容量	180,525kW	216,196kW	370,000kW